

# 鳥羽のお宝 再発見!



vol.40

教育委員会生涯学習課

☎ 25 1 2 6 8

## 九鬼氏の御家騒動 鳥羽から離れた原因とは!?

九鬼嘉隆の息子守隆は、慶長2（1597）年に、父の家督を継いで、鳥羽城主となりました。関ヶ原の戦いの戦功などにより、領地は加増されて5万6千石となり、九鬼家のピークを迎えました。守隆には5人の息子がおり、次男・貞隆が兄・良隆に替わり跡継ぎとなるはずでした。ところが、貞隆は病気にかかり、24歳の若さでこの世を去ってしまいます。これをきっかけに三男・隆季と五男・久隆との間で後継を巡って家臣団をはじめとすると、九鬼氏全体を巻き込んだ大騒動に発展しました。

寛永9（1632）年に守隆は亡くなりますが、争いは収まらず、江戸幕府の仲介により久隆を跡継ぎとし、久隆は摂津国三田（兵庫県三田市）、隆季は丹波国綾部（京都府綾部市）へ所替えを命令しました。

この騒動については、あまりくわしいことは知られていませんでしたが、当時の殿様と家臣の関係を知らうえて、とても興味深い事例とされています。また、騒動の黒幕には正室や側室といった女性の影

も見え隠れします。この度、この騒動について、くわしく研究した先生をお招きして、なぜこのような相続争いが勃発することになったのか、分かりやすくお話ししていただきます。九鬼家の人々の人間模様がよく分かりますので、みなさんにも身近に感じられるのではないかと思います。入場無料ですので、ぜひご来場ください。

とき 9月22日(土)午後1時30分〜3時30分  
ところ 鳥羽商工会議所3F かもめホール  
講師 福田 千鶴さん（九州産業大学国際文化学部日本文化学科教授）  
題目 「九鬼家の御家騒動」なぜ鳥羽から離れることになったのか



講師 福田 千鶴さん

## みんなで子育て



子育て広場

## だっこでほっと

「こどもの自己肯定感」  
こどもは自分のことを好きだと思っているか?

vol.23

子育て支援センター

☎・FAX 25 7 2 2 1

三重県のある調査で、「自分のことが好きでない」と思っているこどもが、小学5年生で32・1%、中学2年生で52・3%という結果を目にしました。自分のことが好きでないこどもは、その気持ちをどう捉えたらよいのでしょうか。とても悲しい思いがします。自分を否定しているということとです。

こどもには、自信を持って夢を追いかけ、キラキラ輝いて毎日を過ごしてほしい。その願うのは、誰もが同じだと思います。

どうして自分が好きだと思えないのか。それは、周りの大人にも責任があるのではないのでしょうか。「あなたが大好きだよ」「あなたがいてくれてよかった」「あなたがいれば、きっと、自分は大切に思われている」と思っています。

「自分は愛されている」「大事な存在である」と感じられる経験を沢山させてあげたいですね。

子育て支援センターでは、18歳までのお子さんのいろいろな相談を受け付けています。みんなで一緒に子育てについて考えましょう。